

■ 2014年の中国を予測 ②

人民元レート 1ドル=6元を割るか

値 け人曾人外る価人シな5たの156月1

人民元の対米ドルレートの値上がり加速するに伴い、人民元国際化プロセスもこれまでにない速い加速ぶりをみせている。

「現在の人民元上昇は短期的な国内外経済の変化によるものに過ぎず、今後の経済の主たる基調ではない。したがって人民元の上昇、外貨買取専用資金の増加も短期的現象に過ぎない。」

沈氏によると、第1に為替レートと外貨買取専用資金を決定する最も根本的な要因は依然として实体经济、特に貿易だ。税関総署の11月の貿易統計によると、輸出の大幅な増加によって同月の貿易黒字は2013年最高の338億ドル(約5408億円)に達した。貿易黒字の増加は人民元の上昇にとって圧力となる。

第2に、中国の改革によって解放される潜在的経済力を海外に非常に楽観視している。第18期三中全会の打ち出した改革計画は海外の投資家の予想を上回るものであり、中国経済は良好なファンタメンタルスを長期間維持するとの国際投資家の楽観的ムードが強化された。

第3に、中国の金利は世界的に優位性を備える。世界の流動性が依然緩和基調にある中、中国人民銀行はすでに融資を引き締め、金利が上昇している。

したがって中長期的な経済情勢から見て、人民元が上昇し続けることはない。

(整理・編集部)

た、お、強、を、動、昇、に、つ、つ、小、した。

徐静波 「2013年新浪网十大ブロガー」に選ばれる



中国最大のポータルサイト「新浪网(シナネット)」は、1月6日「2013年度十大ブロガー」を選出、中国経済新聞編集長徐静波(アジア通信社社長)を十大ブロガー中の第5位に列した。新浪网は、徐静波を選ぶにあたって、「彼のブログは、中国のネットユーザーにとって、すでに日本を理解する重要な窓口になっている」と評価した。

新浪網の編集長陳彤氏は表彰式で、以下述べた。新浪ウェブブログは5億人をカバーし、総文書数は14億をオーバーしており、したがって、この「十大ブロガー」に選ばれた作者は、中国で最も傑出した最も優秀な知恵者であると言わなければならない。

同時に、新浪网は、昨年12月20日、ひとつのブログのアクセス数の多寡に基づき

「2013年新浪网十大ブログ」を選出したが、徐静波が、昨年3月中国全人代を取材中に書いた《習近平の国家主席当選への全過程》が122万アクセスで、第7位に選ばれた。ホンソンの鳳凰網(フエニックス・ネット)も1月2日、「2013年十大軍事ブログ」を選出した結果、徐静波が第5位に選ばれた。

以下は、今年1月1日から13日まで、徐静波が発表したブログとアクセス数の統計である。(中国の四大ポータルサイト: 新浪网、鳳凰網、搜狐網、網易の14日正午締め切り統計に基づく) :

- 1、「アジアの『2014年問題』(1月2日発表) アクセス数: 19万5690回
- 2、「実地に味わってみる: 『主席のセットメニュー』は、どんな味わいか?」(1月3日発表) アクセス数: 23万9425回
- 3、「安倍首相は、離婚するだろうか?」(1月9日発表) アクセス数: 108万6306回
- 4、「日本は、なぜ『国境線』をアフリカに引こうとしているのか?」(1月10日発表) アクセス数: 14万5612回
- 5、「なぜ中国人は、まだ日本を『おそれる』のか?」(1月11日発表) アクセス数: 142万3497回
- 6、「日本の女子は、なぜ16歳で結婚が許されるのか?」(1月13日発表) アクセス数: 63万8871回